

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8013803 - 0005

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月7日		(水)	8:00	承認	審査	作成	
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事							
	発生場所	H4タンクエリア					2018/2/5	2018/2/5	2018/2/5
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/2	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-335
	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
1	土砂類(碎石)	B	04	W	A	16 m ³	4 μSv/h	5 μSv/h	β有 800 μSv/h
2						m ³			
3						m ³			
4						m ³			
5						m ³			
8m3コンテナ×2 「線量測定結果反映」									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	02	—	0001
				2018/2/5
調整後保管日時		2018年2月7日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h			m ³	m ³			
1	1	土砂類(碎石)	8	μSv/h	10	μSv/h	10	μSv/h	エリアW1	2018/2/7 8:25	10	m ³		OK-0130	1	
1	2	土砂類(碎石)	8	μSv/h	15	μSv/h	18	μSv/h	エリアW1	2018/2/7 8:25	10	m ³		OK-0207	1	
												m ³				
												m ³				
												m ³				

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有			③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作 業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年2月7日		(水)	9:00		承認	審査	作成												
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事																			
	発生場所	H4タンクエリア							2018/2/5	2018/2/5											
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL														
	元請会社					担当者	TEL														
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/2/2		測定者			測定器名	ICW													
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率												
		①	②	③																	
		1	土砂類(碎石)	B						04	W	A	16	m ²	4	μSv/h	5	μSv/h	β有	800	μSv/h
		2												m ²							
3							m ²														
4							m ²														
5							m ²														
メ モ	8m3コンテナ×2 「線量測定結果反映」																				

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	02	—	0002	2018/2/5
調整後保管日時		2018年2月7日		9:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年2月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂類(碎石)	8 μSv/h	15 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2018/2/7 9:00	10 m ²		B0074	1
	1	2	土砂類(碎石)	8 μSv/h	15 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2018/2/7 9:00	10 m ²		K-0358A	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納
--------	-------------------------

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥、W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月7日		(水)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事							
	発生場所	H4タンクエリア					2018/2/5	2018/2/5	2018/2/5
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/2	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-335
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
1	土砂類(碎石)			① B 04 ② W ③ A	16 m ³	4 μSv/h	5 μSv/h	β 有	800 μSv/h
2					m ³				
3					m ³				
4					m ³				
5					m ³				
8m3コンテナ×2 「線量測定結果反映」									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0003
				2018/2/5
調整後保管日時		2018年2月7日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂類(碎石)	8 μSv/h	10 μSv/h	12 μSv/h	エリアW1	2018/2/7 10:05	10 m ³		OK-0212	1
	1	2	土砂類(碎石)	8 μSv/h	15 μSv/h	18 μSv/h	エリアW1	2018/2/7 10:05	10 m ³		B0078	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月7日	(水)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	H4タンクエリア			2018/2/5	2018/2/5	2018/2/5			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/2/2	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-ICW-335			
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	土砂類(碎石)	B	04	W	A	16 m ³	4 μSv/h	5 μSv/h	β有 800 μSv/h
	2						m ³			
	3						m ³			
	4						m ³			
	5					m ³				
	8m3コンテナ×2 「線量測定結果反映」									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0004
				2018/2/5
調整後保管日時		2018年2月7日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂類(碎石)	8 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアW1	2018/2/7 11:00	10 m ³		OK-0265	1
	1	2	土砂類(碎石)	8 μSv/h	15 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2018/2/7 11:00	10 m ³		OK-0002	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ
上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8013803 - 0005

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月7日		(水)	12:00		承認	審査	作成	
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	H4タンクエリア						2018/2/5	2018/2/5	2018/2/5
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/2	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-335
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
	1	土砂類(碎石)	B	04	W	A	16 m ³	4 μSv/h	5 μSv/h	β有 800 μSv/h
	2						m ³			
	3						m ³			
4						m ³				
5						m ³				
8m3コンテナ×2 「線量測定結果反映」										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0005
				2018/2/5
調整後保管日時		2018年2月7日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂類(碎石)	8 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアW1	2018/2/7 12:00	10 m ³		OK-0242	1
	1	2	土砂類(碎石)	8 μSv/h	12 μSv/h	12 μSv/h	エリアW1	2018/2/7 12:00	10 m ³		OK-0246	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納
--------	-------------------------

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0002

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月5日		(月)	10:00	承認	審査	作成												
	作業件名	発電所構内除草・除伐業務																		
	発生場所	福島第一原子力発電所構外(西門周辺エリア)					2017/12/27	2017/12/27	2017/12/19											
	作業主管G	総務グループ			監理員		TEL													
	元請会社				担当者		TEL													
G 記 入 欄 メ モ	線量測定年月日	2017/12/4		測定者		測定器名	FI-SC													
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率											
		①	②	③																
		1	伐採木(幹・根)	D						01	D	A	14	m ³	9	μSv/h	9	μSv/h	無	
		2												m ³						
3							m ³													
4							m ³													
5							m ³													
4回運搬予定																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0012
				2017/12/27
調整後保管日時		2018年2月5日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月6日		(火)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	発電所構内除草・除伐業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構外(西門周辺エリア)						2017/12/27	2017/12/27	
	作業主管G	総務グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2017/12/4	測定者			測定器名	FI-SC	管理番号	099	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	伐採木(幹・根)		D	01	D	A	14 m ³	9 μSv/h	9 μSv/h	無
2							m ³			
3							m ³			
4							m ³			
5							m ³			
メ モ	4回運搬予定									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0013
				2017/12/27
調整後保管日時		2018年2月6日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	伐採木(幹・根)				エリアM	2018/2/6 9:35	3 m ³			
	1	2	伐採木(幹・根)				エリアM	2018/2/6 9:35	3 m ³			
	1	3	伐採木(幹・根)				エリアM	2018/2/6 9:35	3 m ³			
	1	4	伐採木(幹・根)				エリアG(幹・根)	2018/2/6 11:25	3 m ³			
	1	5	伐採木(幹・根)				エリアG(幹・根)	2018/2/6 11:30	2 m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこ。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月7日		(水)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	発電所構内除草・除伐業務										
	発生場所	福島第一原子力発電所構外(西門周辺エリア)						2018/1/9	2018/1/9	2017/12/19		
	作業主管G	総務グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/12/4		測定者			測定器名	FI-SC		管理番号	099	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	伐採木(幹・根)			D	01	D	A	14 m ²	9 μSv/h	9 μSv/h	無
	2											
	3											
4												
5												
4回運搬予定												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	02	—	0014
				2018/1/9
調整後保管日時		2018年2月7日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	伐採木(幹・根)				エリアM	2018/2/7 10:10	18 m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態		D:乾燥, W:湿気有		③		履歴					
								A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0002

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月9日		(金)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	発電所構内除草・除伐業務									
	発生場所	福島第一原子力発電所構外(西門周辺エリア)					2018/1/9	2018/1/9			
	作業主管G	総務グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/12/4	測定者		測定器名	FI-SC	管理番号	099			
No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③						
	1	伐採木(幹・根)	D	01	D	A	14 m ²	9 μ Sv/h	9 μ Sv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
5						m ²					
メモ	4回運搬予定										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0015
				2018/1/9
調整後保管日時		2018年2月9日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	伐採木(幹・根)				エリアM	2018/2/9 9:10	3 m ²			
1	2	2	伐採木(幹・根)				エリアM	2018/2/9 9:10	3 m ²			
1	3	3	伐採木(幹・根)				エリアM	2018/2/9 9:10	3 m ²			
1	4	4	伐採木(幹・根)				エリアG(幹・根)	2018/2/9 11:20	3 m ²			
1	5	5	伐採木(幹・根)				エリアG(幹・根)	2018/2/9 11:20	3 m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③					
	6					m				
	7					m				
	8					m				
	9					m				
	10					m				

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	02	—	0015

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	6	伐採木(幹・根)							エリアG(幹・根)	2018/2/9 11:20	3	m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			
													m			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B 不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	06 不燃物その他
		06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 —	11 —
	C 難燃物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	16 —
		01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	06 —
	D 伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	06 —
		② 状 態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0032

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月5日		(月)	10:00		承認	審査	作成					
	作業件名	H5・6フランジタンクリプレイス関連工事												
	発生場所	G6タンクエリア												
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL							
	元請会社					担当者	TEL							
	線量測定年月日	2017/12/25	測定者			測定器名	ICW(BL)		管理番号	F1-ICWBL-54				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率				
		①	②	③										
	1	金属ガラ	B	01	D	B	8	m ³	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	2	コンクリートガラ	B	02	D	B	4	m ³	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	3	ゴム類	C	01	D	B	1	m ³	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	4							m ³						
	5							m ³						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0025
				2018/1/12
調整後保管日時		2018年2月5日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μ Sv/h	7 μ Sv/h		エリアC	2018/2/5 10:25	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月5日		(月)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	H4N									
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/1/19		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター			
							管理番号	F1-ICWBL-77			
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	金属	B	01	D	A	1 m	0.002 mSv/h	0.6 mSv/h	β 有	4 mSv/h
	2	ガラ	B	10	D	A	5 m	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	4 mSv/h
	3	砕石	B	04	D	A	7 m	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.25 mSv/h
	4						m				
	5						m				
	8m3コンテナ2基分(No78、79)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0041
				2018/2/1
調整後保管日時		2018年2月5日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	8 μ Sv/h	15 μ Sv/h	18 μ Sv/h	エリアW1	2018/2/5 8:00	10 m ³		A0180	1
	1	2	10m3コンテナ	8 μ Sv/h	8 μ Sv/h	10 μ Sv/h	エリアW1	2018/2/5 8:00	10 m ³		B0113	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ
上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月5日		(月)	9:00	承認	審査	作成	
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事							
	発生場所	H4N					2018/2/1	2018/2/1	2018/2/1
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
線量測定年月日	2018/1/26	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-77		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③					
	1 難燃シート	C	02	D	A	2 m ²	0.002 mSv/h	0.6 mSv/h	β 有 20 mSv/h
	2 コンクリートガラ	B	02	D	A	2 m ²	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有 4 mSv/h
3 碎石	B	04	D	A	5 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有 0.25 mSv/h	
4 ガラ	B	10	D	A	6 m ²	0.002 mSv/h	0.006 mSv/h	β 有 4 mSv/h	
5					m ²				
8m3コンテナ2基分(No88、89)									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0042
				2018/2/1
調整後保管日時		2018年2月5日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	8 μSv/h	10 μSv/h	12 μSv/h	エリアW1	2018/2/5 8:30	10 m ³		B0142	1
	1	2	10m3コンテナ	18 μSv/h	18 μSv/h	18 μSv/h	エリアW1	2018/2/5 8:30	10 m ³		B0069	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月5日		(月)	10:00	承認	審査	作成							
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事													
	発生場所	H4N					2018/2/1	2018/2/1	2018/2/1						
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL									
	元請会社				担当者	TEL									
	線量測定年月日	2018/1/25	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-77						
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率					
		①	②	③											
	1	難燃シート	A	03	D	A	1	m	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	β 有	0.015	mSv/h
	2	コンクリートガラ	B	02	D	A	4	m	0.002	mSv/h	0.005	mSv/h	β 有	4	mSv/h
	3	碎石	B	04	D	A	3	m	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	β 有	0.25	mSv/h
	4	ガラ	B	10	D	A	3	m	0.002	mSv/h	0.006	mSv/h	β 有	4	mSv/h
5	アスファルトガラ	B	09	D	A	3	m	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	β 有	0.015	mSv/h	
メ モ	8m3コンテナ2基分(No86、87)														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0043
				2018/2/1
調整後保管日時		2018年2月5日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月5日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	8 μ Sv/h	10 μ Sv/h	12 μ Sv/h	エリアW1	2018/2/5 10:00	10 m ³		OK-0208	1
	1	2	10m3コンテナ	8 μ Sv/h	10 μ Sv/h	12 μ Sv/h	エリアW1	2018/2/5 10:00	10 m ³		A0098	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ
上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月5日		(月)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	H4N									
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員					
	元請会社					担当者					
	線量測定年月日	2018/1/22		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター			
							管理番号	F1-ICWBL-77			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	1 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.015 mSv/h
	2	コンクリートガラ	B	02	D	A	3 m ²	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	4 mSv/h
	3	砕石	B	04	D	A	4 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.25 mSv/h
	4	ガラ	B	10	D	A	4 m ²	0.002 mSv/h	0.006 mSv/h	β 有	4 mSv/h
	5										
	8m3コンテナ2基分(No84、85)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0044
				2018/2/1
調整後保管日時		2018年2月5日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	10 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアW1	2018/2/5 10:30	10 m ²		B0122	1
	1	2	10m3コンテナ	10 μSv/h	12 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2018/2/5 10:30	10 m ²		A0057	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※ 上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業主管理	保管希望日時	2018年2月5日		(月)	12:00	承認	審査	作成						
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事												
	発生場所	H4N					2018/2/1	2018/2/1	2018/2/1					
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL								
	元請会社				担当者	TEL								
線量測定	線量測定年月日	2018/1/22	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-77						
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率					
		①	②	③										
		1	難燃シート(空土嚢)	C 02 D A						1 m ²	0.002 mSv/h	0.6 mSv/h	β 有	20 mSv/h
		2	コンクリートガラ	B 02 D A						3 m ²	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	4 mSv/h
3	砕石	B 04 D A	1 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.25 mSv/h							
4	ガラ	B 10 D A	8 m ²	0.002 mSv/h	0.006 mSv/h	β 有	4 mSv/h							
5	アスファルトガラ	B 09 D A	1 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.015 mSv/h							
メモ	8m3コンテナ2基分(No82、83)													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0045
				2018/2/1
調整後保管日時		2018年2月5日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月5日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	12 μ Sv/h	エリアW1	2018/2/5 11:30	10 m ³		B0019	1
	1	2	10m3コンテナ	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	12 μ Sv/h	エリアW1	2018/2/5 11:30	10 m ³		B0059	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納
----	-------------------------

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業主管理	保管希望日時	2018年2月9日		(金)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	H4N				2018/2/7	2018/2/7	2018/2/7			
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
線量測定	線量測定年月日	2018/2/6	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター				
						管理番号	F1-ICWBL-77				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無			
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率			
	1	難燃シート	C	02	D	A	2 m ²	0.002 mSv/h	0.6 mSv/h	β 有	20 mSv/h
入 欄	2	コンクリートガラ	B	02	D	A	1 m ²	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	4 mSv/h
	3	碎石	B	04	D	A	5 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.25 mSv/h
	4	ガラ	B	10	D	A	6 m ²	0.002 mSv/h	0.006 mSv/h	β 有	4 mSv/h
	5	プラ	A	02	D	A	1 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.015 mSv/h
	メモ	コンテナ2基分(No103, 104)									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0046
				2018/2/7
調整後保管日時		2018年2月9日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	10 μ Sv/h	12 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアW1	2018/2/9 8:00	10 m ³		OK-0125	1
	1	2	10m3コンテナ	10 μ Sv/h	12 μ Sv/h	18 μ Sv/h	エリアW1	2018/2/9 8:00	10 m ³		OK-0370A	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ 上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0024

作業主管理	保管希望日時	2018年2月9日		(金)	9:00	承認	審査	作成	
	作業件名	H3エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	H3				2018/2/7	2018/2/7	2018/2/7	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
線量測定	線量測定年月日	2018/2/2	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		
						管理番号	T-JCWBL-03		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	不燃物	B 01	D	A	2 m	0.002 mSv/h	0.001 mSv/h	β 有 0.001 mSv/h
入 欄	2	コンクリートガラ	B 02	D	A	10 m	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有 0.02 mSv/h
	3					m			
	4					m			
	5					m			
	メモ	コンテナ2基分(No19、20)							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0047
				2018/2/7
調整後保管日時		2018年2月9日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	10 μ Sv/h	12 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアW1	2018/2/9 9:00	10 m ³		OK-0223	1
	1	2	10m3コンテナ	10 μ Sv/h	12 μ Sv/h	18 μ Sv/h	エリアW1	2018/2/9 9:00	10 m ³		OK-0141	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納
----	-------------------------

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0024			
主 管 入 欄	保管希望日時	2018年2月9日		(金)	10:00		承認	審査	作成				
	作業件名	H3エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事											
	発生場所	H3						2018/2/7	2018/2/7	2018/2/7			
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL				
	元請会社					担当者			TEL				
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/2/2		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	T-JCWBL-03		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率				
		①	②	③									
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	10 m ³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	β 有	0.03 mSv/h		
	2						m ³						
メ 入 欄	3						m ³						
	4						m ³						
	5						m ³						
	コンテナ2基分(No16、17)												
保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
	1	1	コンクリートガラ	10 μ Sv/h	12 μ Sv/h	12 μ Sv/h	エリアW1	2018/2/9 10:00	10 m ³		OK-0155	1	
	1	2	コンクリートガラ	10 μ Sv/h	15 μ Sv/h	30 μ Sv/h	エリアW1	2018/2/9 10:00	10 m ³		OK-0137	1	
									m ³				
									m ³				
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載													
メ 入 欄	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納												
※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—				
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—				
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類					
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他					
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—				
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—				
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—				
		D	伐採木										
		② 状 態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月5日		(月)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	H4エリア								
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/1/17	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	可燃物その他	A	04	D	B	1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2	プラスチック・ポリエステル	A	02	D	B	1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
3	紙・ダンボール・ウェス	A	01	D	B	1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
4	木材	A	03	D	B	2 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
5						m ³				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0072
				2018/1/18
調整後保管日時		2018年2月5日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/5 8:15	0.5 m ³			1
	2	1	プラスチック・ポリエステル	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/5 8:15	0.9 m ³			1
	3	1	紙・ダンボール・ウェス	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/5 8:15	0.9 m ³			1
	4	1	木材	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/5 8:15	3 m ³			1
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月5日		(月)	12:30		承認	審査	作成	
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	H4エリア								
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/1/17	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属ゴミ	B	01	D	B	2 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2	不燃ゴミ	B	10	D	B	2 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	3	ゴム類	C	01	D	B	1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	4						m ³			
	5						m ³			
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0073
				2018/1/18
調整後保管日時		2018年2月5日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2		ICW	F1-ICW-158
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ゴミ⑩	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/2/5 12:05	2 m ³			1
	2	1	不燃ゴミ③	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/2/5 12:05	2 m ³			1
	3	1	ゴム類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/2/5 11:50	0.4 m ³			2
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0053

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月5日	(月)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成								
	発生場所	有床救護所エリア周辺								
	作業主管G	建築総合工事グループ	監理員	TEL						
	元請会社		担当者	TEL						
線量測定年月日	2018/1/25	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICW-128			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	10 m ²	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0085
				2018/1/19
調整後保管日時		2018年2月5日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0053

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月5日	(月)	10:00	承認	審査	作成				
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成									
	発生場所	有床救護所エリア周辺			2018/1/19	2018/1/19	2018/1/19				
	作業主管G	建築総合工事グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/1/25	測定者		測定器名	電離箱	管理番号				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			$\beta + \alpha$ 汚染の有無				
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m ²	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無	$\beta + \gamma$ 線量率
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
	注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0086
				2018/1/19
調整後保管日時		2018年2月5日		12:30
【保管時の指示事項等】				
時間調整をしています。よろしくお願ひします。				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
				B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
						06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
						11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—				
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)															
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。															
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。															

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0053

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月5日		(月)	10:30	承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成							
	発生場所	有床救護所エリア周辺							
	作業主管G	建築総合工事グループ		監理員	TEL				
	元請会社			担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/1/25	測定者			測定器名	電離箱	管理番号	
							F1-ICW-128		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	
				①	②	③			
	1	コンクリートガラ			B 02 D A	5 m ²	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無
2					m ²				
3					m ²				
4					m ²				
5					m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0087
				2018/1/19
調整後保管日時		2018年2月5日 10:30		
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0053

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月5日		(月)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成								
	発生場所	有床救護所エリア周辺					2018/1/19	2018/1/19	2018/1/19	
	作業主管G	建築総合工事グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/1/25	測定者			測定器名	電離箱	管理番号	FI-ICW-128	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m ³	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
4						m ³				
5						m ³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0088
				2018/1/19
調整後保管日時		2018年2月5日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0053

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月5日		(月)	11:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成								
	発生場所	有床救護所エリア周辺								
	作業主管G	建築総合工事グループ		監理員			TEL			
	元請会社			担当者			TEL			
G 記 入 欄 メ モ	線量測定年月日	2018/1/25	測定者			測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICW-128	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m ²	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0089
				2018/1/19
調整後保管日時		2018年2月5日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0053

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月5日	(月)	12:00	承認	審査	作成				
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成									
	発生場所	有床救護所エリア周辺			2018/1/19	2018/1/19	2018/1/19				
	作業主管G	建築総合工事グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/1/25	測定者		測定器名	電離箱	管理番号 F1-ICW-128				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率		
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	10 m ²	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0090
				2018/1/19
調整後保管日時		2018年2月5日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)								
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。								
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No.

6012602 - 0053

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月6日		(火)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1～3号機 窒素ガス分離装置(D-E)敷地造成								
	発生場所	有床救護所エリア周辺				2018/1/19	2018/1/19	2018/1/19		
	作業主管G	建築総合工事グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/1/25	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICW-128		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	10 m ²	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
5						m ²				
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0091
				2018/1/19
調整後保管日時		2018年2月6日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ

モ

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012602 - 0053																																																																																					
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月6日		(火)	10:00		承認	審査	作成																																																																																						
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成																																																																																													
	発生場所	有床救護所エリア周辺						2018/1/19	2018/1/19	2018/1/19																																																																																					
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員			TEL																																																																																						
	元請会社					担当者			TEL																																																																																						
	線量測定年月日	2018/1/25	測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICW-128																																																																																					
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率																																																																																					
	1	コンクリートガラ		B	02	D	A	5 m ²	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無																																																																																				
	2							m ²																																																																																							
	3							m ²																																																																																							
4							m ²																																																																																								
5							m ²																																																																																								
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="12">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="11"></th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="9">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td colspan="9"></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td colspan="9"></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td colspan="9"></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td colspan="9"></td></tr> </tbody> </table>												線量測定内容												測定日												測定No.	氏名	測定器	管理番号									1												2												3												4											
線量測定内容																																																																																															
測定日																																																																																															
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																												
1																																																																																															
2																																																																																															
3																																																																																															
4																																																																																															
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																																			
			中止						m ²																																																																																						
									m ²																																																																																						
									m ²																																																																																						
									m ²																																																																																						
									m ²																																																																																						
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																															
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																																																																																		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																																																																																		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																																																																		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																																																																		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																																																																																		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																																																																		
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																		
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																		
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																			
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																								
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																																																																																															

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0053

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月6日		(火)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成								
	発生場所	有床救護所エリア周辺					2018/1/19	2018/1/19	2018/1/19	
	作業主管G	建築総合工事グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/1/25	測定者			測定器名	電離箱	管理番号	FI-ICW-128	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m ²	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0093
				2018/1/19
調整後保管日時		2018年2月6日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6012602 - 0053

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	02	—	0094
				2018/1/19
調整後保管日時		2018年2月6日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月6日		(火)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成								
	発生場所	有床救護所エリア周辺						2018/1/19	2018/1/19	2018/1/19
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/1/25	測定者			測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICW-128	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m ²	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0053

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月6日		(火)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成								
	発生場所	有床救護所エリア周辺						2018/1/19	2018/1/19	2018/1/19
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/1/25	測定者			測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICW-128	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	コンクリートガラ			① B 02 ② D ③ A	5 m ²	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無	
2					m ²					
3					m ²					
4					m ²					
5					m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0095
				2018/1/19
調整後保管日時		2018年2月6日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0053

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月6日		(火)	12:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成								
	発生場所	有床敷設所エリア周辺						2018/1/19	2018/1/19	2018/1/19
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/1/25	測定者			測定器名	電離箱		管理番号	FI-ICW-128
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率
	1	コンクリートガラ		B	02	D	A	10 m ²	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h
2							m ²			
3							m ²			
4							m ²			
5							m ²			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0096
				2018/1/19
調整後保管日時		2018年2月6日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0053

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月7日		(水)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成								
	発生場所	有床救護所エリア周辺						2018/1/19	2018/1/19	2018/1/19
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/1/25	測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICW-128
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	10 m ²	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0097
				2018/1/19
調整後保管日時		2018年2月7日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0053

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2018年2月7日		(水)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成									
	発生場所	有床救護所エリア周辺						2018/1/19	2018/1/19	2018/1/19	
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/1/25	測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICW-128	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	① ② ③										
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m ²	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無	
	2						m ²				
3						m ²					
4						m ²					
5						m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0098
				2018/1/19
調整後保管日時		2018年2月7日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0053

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月7日	(水)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成								
	発生場所	有床救護所エリア周辺			2018/1/19	2018/1/19	2018/1/19			
	作業主管G	建築総合工事グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/1/25	測定者		測定器名	電離箱	管理番号			
							FI-ICW-128			
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m ²	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0099
				2018/1/19
調整後保管日時		2018年2月7日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニル類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニル類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)								
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニル類については可燃・難燃側に持込みのこと。								
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0053

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2018年2月7日	(水)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成								
	発生場所	有床救護所エリア周辺			2018/1/19	2018/1/19	2018/1/19			
	作業主管G	建築総合工事グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/1/25	測定者			測定器名	電離箱			
						管理番号	F1-ICW-128			
G 記 入 欄 メモ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m ³	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
	4						m ³			
5						m ³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0100
				2018/1/19
調整後保管日時		2018年2月7日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6012602	-	0053
-------	---------	---	------

作業主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年2月7日			(水)		11:30		承認		審査		作成				
	作業件名		1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成															
	発生場所		有床救護所エリア周辺										2018/1/19		2018/1/19		2018/1/19	
	作業主管G		建築総合工事グループ					監理員			TEL							
	元請会社							担当者			TEL							
線量測定年月日		2018/1/25		測定者				測定器名		電離箱		管理番号		F1-ICW-128				
No.		保管物名			※カテゴリ			物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率		
1		コンクリートガラ			B 02 D A			5 m ²		0.05 mSv/h		0.09 mSv/h		無				
2								m ²										
3								m ²										
4								m ²										
5								m ²										
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																		

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					2018/1/19
廃2018	—	02	—	0101	
調整後保管日時		2018年2月7日			11:30
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止									m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				
												m ³				

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0053

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月7日	(水)	12:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成								
	発生場所	有床救護所エリア周辺			2018/1/19	2018/1/19	2018/1/19			
	作業主管G	建築総合工事グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/1/25	測定者		測定器名	電離箱	管理番号 F1-ICW-128			
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	コンクリートガラ	B	02	D	A	10 m ²	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無	
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0102
				2018/1/19
調整後保管日時		2018年2月7日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6012602 - 0053

作業主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月9日		(金)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成								
	発生場所	有床救護所エリア周辺					2018/1/19	2018/1/19	2018/1/19	
	作業主管G	建築総合工事グループ			監理員					
	元請会社				担当者					
	線量測定年月日	2018/1/25	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICW-128		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	コンクリートガラ	B	02	D	A	10 m ²	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無	
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0103
				2018/1/19
調整後保管日時		2018年2月9日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年2月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管実績 記入欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/2/9 9:40	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012602 - 0053	
---------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------------------	--

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年2月9日		(金)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成									
	発生場所	有床救護所エリア周辺						2018/1/19	2018/1/19	2018/1/19	
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
線量測定年月日	2018/1/25	測定者				測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICW-128	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
		①	②	③							
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m ²	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
4						m ²					
5						m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				2018/1/19
廃2018	—	02	— 0104	
調整後保管日時		2018年2月9日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0053

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月9日		(金)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成									
	発生場所	有床救護所エリア周辺						2018/1/19	2018/1/19	2018/1/19	
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/1/25	測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICW-128	
メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
		①	②	③							
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m ³	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無	
	2						m ³				
	3						m ³				
	4						m ³				
5						m ³					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0105
				2018/1/19
調整後保管日時		2018年2月9日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μ Sv/h	6	μ Sv/h									
	1	1	コンクリートガラ①	5	μ Sv/h	6	μ Sv/h			エリアC	2018/2/9 10:20	5	m ³			1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6012602 - 0053

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月9日		(金)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成								
	発生場所	有床救護所エリア周辺						2018/1/19	2018/1/19	2018/1/19
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/1/25	測定者		測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICW-128	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m ³	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
	4						m ³			
	5						m ³			
	注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	02	—	0106
				2018/1/19
調整後保管日時		2018年2月9日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0053

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年2月9日		(金)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成								
	発生場所	有床救護所エリア周辺						2018/1/19	2018/1/19	2018/1/19
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
線量測定年月日	2018/1/25	測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICW-128	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m ²	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0107
				2018/1/19
調整後保管日時		2018年2月9日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/9 11:50	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		E	その他	01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	—
01	その他			02	その他	03	その他	04	その他	05	—		
F	その他	01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	—		
		01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	—		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012602 - 0053

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月9日	(金)	12:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F-1~3号機 窒素ガス分離装置(D・E)敷地造成								
	発生場所	有床救護所エリア周辺			2018/1/19	2018/1/19	2018/1/19			
	作業主管G	建築総合工事グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/1/25	測定者		測定器名	電離箱	管理番号 F1-ICW-128			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	10 m ²	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	02	—	0108
				2018/1/19
調整後保管日時		2018年2月9日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
		中止						m ²			
								m ²			
								m ²			
								m ²			
								m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
	注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
	注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。														

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013112 - 0002		
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月5日		(月)	8:00		承認	審査	作成			
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事										
	発生場所	G1タンク盛土上						2018/1/22	2018/1/19	2018/1/19		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/12/17	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICWBL-70		
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	コンクリートガラ		B	02	D	B	16 m³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
2							m³					
3							m³					
4							m³					
5							m³					
ダンプ1台×4回運搬												

固体廃棄物管理G記入欄				受付	
受 付 番 号					
廃2018	—	02	—	0112	2018/1/22
調整後保管日時		2018年2月5日		8:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容					
測定日	2018年2月5日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号		
1		ICWBL	F1-ICWBL-55		
2					
3					
4					

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/5 8:10	5 m³			1
	1	2	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/5 8:15	5 m³			1
	1	3	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/2/5 8:40	5 m³			1
									m³			
									m³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0010		
作業主管理G記入欄	保管希望日時		2018年2月5日		(月)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名		H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所		H5タンクエリア						2018/1/22	2018/1/19	2018/1/19	
	作業主管G		貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社						担当者	TEL				
	線量測定年月日		2018/1/12		測定者		測定器名		ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリートガラ		B	02	D	B	48 m ³	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無	
	2							m ³				
	3							m ³				
4							m ³					
5							m ³					
トラック3台×4回、溶接金網含む(可能な限り取り除いています)												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0113
				2018/1/22
調整後保管日時		2018年2月5日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	7 μ Sv/h		エリアC	2018/2/5 8:05	5 m ³			1
1	2	2	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/2/5 8:20	5 m ³			1
1	3	3	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/2/5 8:35	5 m ³			1
1	4	4	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	7 μ Sv/h		エリアC	2018/2/5 8:45	5 m ³			1
1	5	5	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/2/5 8:55	5 m ³			1

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰 囲 気 線 量 率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③					
	6					m ²				
	7					m ²				
	8					m ²				
	9					m ²				
	10					m ²				

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	02	—	0113

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年2月5日	(月)	12:00	承認	審査	作成						
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事											
	発生場所	G1タンク盛土上			2018/1/22	2018/1/19	2018/1/19						
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL								
	元請会社			担当者	TEL								
	線量測定年月日	2018/1/18	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-70					
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率				
1	金属ガラ	B	01	D	B	2	m ³	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無	
2							m ³						
3							m ³						
4							m ³						
5							m ³						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	02	—	0114
				2018/1/22
調整後保管日時		2018年2月5日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年2月5日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/2/5 12:00	2 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013112 - 0002

作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年2月6日		(火)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	G1タンク盛土上					2018/1/22	2018/1/19	2018/1/19	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員					
	元請会社				担当者					
	線量測定年月日	2017/12/17	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-70	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	16 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
メモ	ダンプ1台×4回運搬									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	02	—	0115
				2018/1/22
調整後保管日時		2018年2月6日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。